



学校だより 令和7年8・9月号

【文蔵小ホームページ】

文蔵小通信

さいたま市立文蔵小学校



〒336-0025 さいたま市南区文蔵5-16-29

TEL 863-0721 FAX 836-1583

★毎日更新中★

「2学期もよろしくお願いします」

校長 丸山 謙一

39日間の夏休みはいかがお過ごしだったでしょうか。夏休み中は、全国各地で豪雨や猛暑など異例の自然現象が見られ、改めて自然の驚異を痛感させられました。例えば、カムチャツカ半島沖で発生した地震により、太平洋側全体に津波警報が発令され、避難行動や情報収集など、多くの人々に影響が出ました。また、線状降水帯が発生した地域では土砂崩れや河川の氾濫などのため、広範囲にわたり大きな被害が発生してしまいました。更には、群馬県伊勢崎市で41.8℃となり、国内の最高気温を更新するなど、連日猛暑日の脅威を感じさせられました。振り返れば、なかなか厳しい夏休みでしたが、子ども達の大きな事故や怪我の報告はなく、今日笑顔であいさつを交わすことができたことに心底安堵しています。しかしながら、2学期当初もまだ気温の高い日が続く予報が出ておりますので、子ども達の心と体調を整えながら、教育活動を進めて参ります。なにか心配な点がありましたら、早めにご相談いただきますようお願いいたします。

さて、先日教職員対象の教育講演会で元サッカー日本代表の小野伸二さんのお話を伺ってきました。数々の輝かしい経歴をお持ちの小野さんですが、常に謙虚な姿勢で人生を歩んでこられたことを改めて知ることができました。特に心に残った言葉を2つ紹介いたします。

① 「学校は楽しいところではなく、楽しむところ」

「学校が楽しい」と感じている子は、テーマパーク等の楽しさと同じ価値を感じている訳ではありません。学校生活の様々な場面で、できた喜びや友だちとの交流の中に楽しさを感じています。つまり、自分自身の行動で学校生活を楽しくできるのです。子ども達一人ひとりが、「学校は楽しい」を実感できる教育活動を実施する大切さを再確認しました。教職員一丸となって、子ども達が意欲的で主体的に活動できるように努めて参ります。

② 「今まで出会ったすべての人たちが今の自分を育ててくれた」

子どもに限らず大人になっても、好きな人もいれば、自分とは価値観が合わないと感じる人もいます。しかしながら「出会いは奇跡」です。人間は誰もが唯一無二の存在で、全ての人の命の重さに違いはありません。すべての人がかけがえのない存在として、互いに認め合える心が芽生え育つことで、すべての人の人生が豊かになると信じています。

最後に、今日を迎えるにあたり、子ども達の心はどうだったでしょうか。友達に会える喜びを感じる子もいれば、理由は明確ではないけれども、なんとなく憂鬱に感じてしまう子もいます。長い夏休みの生活と学校生活とのギャップがどの子にとってもストレスになることは充分理解できます。そのストレスをいかに軽減・解消して、前向きな気持ちをもてるようにするには教職員をはじめ、保護者や地域の皆様、つまり子ども達のよりよい成長に関わる周囲の大人たちの力が必要です。今学期も文蔵っ子の笑顔のためにご協力をお願いいたします。